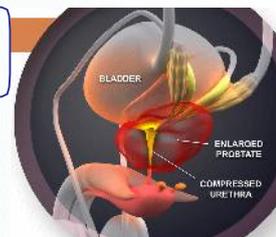


前立腺肥大症に対する低侵襲手術（ウロリフト）



経尿道的 前立腺吊上術

2022年4月1日から医療保険適用となった**排尿障害に対する低侵襲手術**です。

入院期間は3泊4日程度です（患者さんによって異なる場合があります）。足柄上病院では、2022年10月から開始しました。手術は肥大した前立腺組織を持ち上げて固定し、インプラントを永久的に留置して尿道を拡張する方法です。**前立腺組織を切除することなく低侵襲で行うことが可能**です。

このような方に…

全身状態や手術侵襲を考慮して、従来の手術療法（TURP、HoLEP など）が以下のように困難な症例：
全身状態不良のため合併症リスクが高い症例・抗血栓薬の内服または血液凝固異常症により術中出血のリスクが高い症例・高齢もしくは認知機能障害のため術後せん妄、身体機能低下のリスクが高い症例

治療の流れ



1 閉塞した尿道にデリバリーシステムを挿入し、肥大した前立腺にアプローチします。



2 肥大した前立腺組織を持ち上げて固定し、小型のインプラントを永久的に留置して尿道を拡張します。デリバリーシステムから出る小さな針を通して、インプラントが前立腺の中に永久的に留置されます。



3 閉塞した尿道がシステムによって開かれ症状が改善されます。

*** 所要時間は 1 時間程度**

※ 患者さんによって異なる場合があります

治療の機器

デリバリーシステムにはインプラント1個が装填されており、ひとりの患者さんに対して約4個のインプラントを留置します※1。

システムによる治療は、閉塞した尿道を再拡大することにより、迅速で信頼性の高い症状の緩和を提供します。



インプラント

※1. Roehrborn, J Urology 2013 LIFT Study

- PSA高値の方、前立腺がん、膀胱がん、腎臓がんなど、泌尿器がんの患者さんも、ご紹介ください。
- 前立腺肥大の従来の手術（TURPやTUVP）による治療、腎臓結石、尿管結石には、軟性尿管鏡とレーザーを用いた尿路結石治療（f-TUL）や、体外衝撃波結石破碎術（ESWL）による治療も行っております。

画像・素材提供：テレフレックスメディカルジャパン株式会社 ©2022Teleflex Incorporated. 無断複写・転載を禁じます。

外来受付時間（月～金） 8:30～11:00

* 手術日（月）・（水）

地域医療に対する貢献（泌尿器科）

- 常勤医3人で診療を行っており、うち2人が腹腔鏡技術認定、1人がロボット支援手術プロクター認定を保有しています。
- 高齢者には、健康関連QOLの維持と治療効果との両立が若年者以上に重要です。
- Shared-decision makingを通して、地域住民に満足していただける医療を目指します。

【部長】三好 康秀 *2024年4月着任しました

- 日本泌尿器科学会専門医・指導医・代議員
- 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定制度認定医
- 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器ロボット支援手術プロクター認定制度認定医
- 日本癌治療学会日本がん治療認定医機構認定医

林 悠大朗

- 日本泌尿器科学会専門医
- 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会泌尿器腹腔鏡技術認定制度認定医
- 日本癌治療学会日本がん治療認定医機構認定医

高木 広道 *2024年4月着任しました

- 日本泌尿器科学会会員



地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立足柄上病院

〒258-0003 神奈川県松田町松田惣領866-1 0465-83-0351(代表)

医療機関専用FAX予約を行っていますので、詳しくは地域医療連携室にお問合せください。